

平成30年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（市町村分）個票

市町村名 鎌ヶ谷市

本事業の担当部局名 健康福祉部健康増進課

事業メニュー	優良事例の横展開支援
区分	結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組
関連事業メニュー	2-(3) 主に若い世代に対し、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフプランを希望どおり描けるよう、その前提となる知識・情報を提供し、考える機会を持たせる取組
個別事業名	ライフデザイン事業
実施期間	交付決定日～平成31年3月31日
所要見込額	941千円 補助率：1/2（交付金所要額：470千円）
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>鎌ヶ谷市では、「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、少子化対策、移住者の増加及び定着、暮らしやすい社会づくりに総合的に取り組んでいるところである。その基本目標の1つとして「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり」をあげ、その施策の基本方向として</p> <p>①安心して子育てできる環境づくり ②若い世代の経済基盤の確保と子育てに係る経済的負担の軽減 ③妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ④教育環境の充実及び児童生徒の健康と安全の確保</p> <p>の4つをあげている。</p> <p>本事業は、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に位置づけ、若い世代(未婚者)に対する対策として、将来、結婚・妊娠・出産・子育てをする若者に、働くことや生活すること(必要経費や資金計画等)、結婚や出産、子育てなどの知識や情報提供を行い、これからの生活への不安を軽減し、具体的な将来像をイメージできるようにすることで、将来の希望をかなえ、子育てに温かい社会づくりや機運の醸成を図る事業であり、少子化対策につながる施策の一部を担っている。</p>
個別事業の内容	<p>（個別事業の内容）</p> <p>【ライフデザイン啓発冊子の作成（平成29年度より実施）】</p> <p>就労やお金、結婚、妊娠、出産、子育てといったライフステージに合わせた知識の普及や情報提供を中心とした冊子を作成する。多様化する価値観や生活を考慮し、特定の価値やプレッシャーとならないよう、男女共同参画関係部局や有識者等と連携を図りながら、自分の希望に沿ったライフプランをイメージできるようワークライフバランスや男性の育児参加、仕事と育児の両立といった内容、体験談もふまえ、将来の不安を軽減し、自分の将来像を考えるきっかけとなるようライフデザイン教育を実施する。</p> <p><展開方法></p> <p>①新成人に対し郵送による全数配布を行うものとする。また、成人式実行委員によるメッセージDVDでのPRや、成人式会場におけるPR及びアンケート調査を通じて、ライフデザインを描くことの大切さや、考える機会を持たせる取組を総合的に行う。</p> <p>②鎌ヶ谷市婚活セミナーでも、結婚を含めた希望の実現を支援するため、ライフデザイン啓発冊子を配布し知識の普及と情報提供を行い、希望者に対しては、結婚を前向きに捉え結婚の希望の実現に向けた支援を行う。</p> <p>③新規に婚姻した世帯に対し婚姻届け提出時の配布資料として、この冊子を配布し、妊娠・出産・子育てについての知識の普及や理解を深める。</p> <p>【小学生～高校生を対象とした思春期教育及び乳児ふれあい体験事業】</p> <p>①小中学生を対象とした乳幼児ふれあい体験事業</p> <p>市内小中学校や教育委員会と連携し、子どもたちの発達段階に応じた、命の大切さや心身の変化について学習するとともに、未来を描くことにも触れライフデザイン教育を行う。併せて、ふれあい体験を通して男女とも子育てへの理解を深める。参加者数：小学生600人、中学生200人</p>

<p>②市内県立高校におけるライフデザイン事業と乳児ふれあい体験事業 仕事を含めた将来のライフデザインを描き希望をかなえられるよう、知識・情報の提供、啓発冊子を活用し考える機会を提供するとともに、乳児とのふれあい体験を通じて、より自身のライフデザインへのイメージを持てるきっかけづくりとなるよう教育を行うとともに、子育てへの理解を深める。参加者数：300人 【事業経費】 (1) ライフデザイン啓発冊子作製 1,500部 合計 760,560円 (配布先：新成人1000部、婚活イベント100部、婚姻届時400部) ・ ライフデザイン手帳作成委託 569,160円 (内容修正等：80,000円＋印刷：290円×1,500部) ×1.08) ・ 発送用封筒印刷製本費 59,400円 ・ 通信運搬費 132,000円 (2) 乳児ふれあい体験事業 合計 180,000円 ・ 子育てサポーター活動委託 1日1,000円×90日＝90,000円 ・ 消耗品費 90,000円(手指消毒液、ベビーマット等)</p> <p>【次年度以降に向けた事業の方向性】 平成30年度以降は、ライフデザイン事業の実施結果や新成人や乳児ふれあい事業参加者へのアンケートなどを検証し、結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組を継続する。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業：●●事業】 ・ 岐阜県 ライフプランを考える啓発プロジェクト ・ 岡山県 「岡山県妊孕性等普及啓発標準プログラム」作成事業 ・ 文京区 文京ハッピーベビープロジェクト</p> <p>【事業実施にあたっての留意点】 本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。</p>	
<p>・ 個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標</p>	<p>1. ライフデザイン啓発冊子の配布数1500冊、配布率100% 2. ライフデザイン啓発冊子の認知率(新成人・その他併せて100%) ※1.2については成人式対象者全数配布のするとともに、その後アンケート送付もしていくことにより、繰り返し周知を行うことで100%と考える。 3. 冊子を通して啓発を行うことで、自分の将来について考える機会をもてた者の割合新成人の70% ※3. については配布者へのアンケート調査を実施予定 4. 小中学校における乳児ふれあい体験の目標 参加者数800人(市内公立小中学校の4年生以上の児童生徒数のうちの15%) 参加者における、「赤ちゃんのいる生活について考えるきっかけとなった」人の割合 70% 5. 高校における乳児ふれあい体験の目標 参加者数300人、参加率100%(母数は、対象学年の生徒数) 参加者における、「赤ちゃんのいる生活について考えるきっかけとなった」人の割合 70%</p>
<p>・ 都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</p>	<p>千葉県においては、無料のスマートフォンアプリを活用した「ちばMyStyleDiary」事業により結婚から、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行っている。鎌ヶ谷市は、この県事業と連携し、若者への情報提供を通して、結婚する希望をかなえる支援を行う。</p>
<p>・ 民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</p>	<p>・ 民間事業者に印刷を依頼し、より質の高い冊子を作成し、市民がより興味をもって活用できるものとする。</p>
<p>・ 男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 企画政策室、男女共同参画室、教育委員会、各高等学校、市民課 (配慮すること) 事業内容が特定の価値の押し付けやプレッシャーとならないよう配慮する。</p>
<p>・ 委託契約の有無及び契約方式</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 ■有(以下の①～③から該当するものを選択してください) □無 □①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式等) □②競争入札方式 ■③随意契約[事業の内容: ライフデザイン啓発冊子印刷製本] (①を除く) [随契約の理由: 地方自治法令第167条の2第1項第2号による]</p>
<p>・ システム等導入に係る管財部局の確認</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無: □有 (取組名:) ■無 □有の場合の担当部局:</p>

(注)

1 「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料（見積書等）を添付すること。併せて、「うち交付金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額（千位未満切り捨て）を記入すること。

2 「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、各区分（①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③結婚新生活支援）ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組連携しているのかを記載すること。

3 「事業内容」には、個別事業の具体的内容を記載する。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4 「個別事業の重要業績評価指標（KPI）及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は、毎年、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその結果を報告すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

（過去に設定したKPIも別紙に記載すること。）

5 「都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載する。

6 「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入する。

7 「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関連部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること（優良事例の横展開支援事業を実施する場合）。

8 「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること（優良事例の横展開支援事業を実施する場合）。

9 「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること（優良事例の横展開支援事業を実施する場合）。